




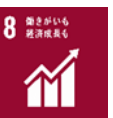









令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

NO.	企業等名	取組概要	関連ゴール
1	EARTH 小田原店	<p>5番「ジェンダー平等を実現しよう」</p> <p>美容院はかつて、女性スタッフが大半を占めていました。現在は男女共に活躍のできる場となり、平等な教育、待遇をしています。</p> <p>14番「海の豊かさを守ろう」</p> <p>多くの美容室では、マイクロプラスチックの原因となるシャンプー・トリートメントの容器、耳カバーなどが使われています。当店ではシャンプーの量り売りを行い、プラスチック容器を増やさないようにしています。カラー剤なども無駄に作らないよう、スタッフで心がけています。</p>	
2	有限会社足柄リハビリテーションサービス	<p>・「全ての人々が自宅で生活を送るための環境整備を行い、あらゆる世代、あらゆる身体状況に対応できる専門的職能集団で構成する社会的企業として活動を行う」を企業方針に掲げ、リハビリテーションによって「生き甲斐」「遣り甲斐」を支援する会社です。</p> <p>・市内には2つの通いの施設と訪問看護ステーションを有し、さらには介護予防教室などを開催する健康増進事業やリハビリ専門職が園や学校などに訪問する保育所等訪問支援事業も展開しています。あらゆる人の健康と福祉に貢献しています。</p> <p>・各事業部ごとに教育制度を設けています。看護師の特定行為研修制度への派遣等、医療介護の専門職としてのスキルアップに努めています。また、後進育成のための実習生の受け入れや一般向けの講演活動なども多数実施しています。</p> <p>・女性活躍推進優良企業「小田原Lエール(ゴールド)」に認定されています。当社では、全職員の6割以上を女性が占めており、管理職の女性も多く在籍しております。年齢や性別に関わらず公平なチャンスがあり、産休や育休後もほぼすべてのの方が仕事に復帰しています。</p>	


令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

3	合同会社あなたのミカタ	<p>合同会社あなたのミカタは、SDGs に貢献するため、多様性を尊重する取組を推進し、性別や国籍、年齢、障害の有無に関わらず、全ての人が平等に働ける環境を整えています。</p> <p>さらに、ワークライフバランスを重視した柔軟な働き方やメンタルヘルスサポートを導入し、従業員が安心して働けるようにしています。</p> <p>具体的には、リモートワークやワーケーションを導入し、自由な働き方の推進を行っています。</p>	
4	AMAZON JAPAN 合同会社 小田原フルフィルメントセンター	<p>AMAZON JAPAN 合同会社 小田原 FC 内では、様々な活動を実施しています。</p> <p>RME(設備保全課)では、電力削減、廃棄物削減を進めています。倉庫内で使用しているモーターの高効率化、コンベアの省エネ停止改造、温湿度センサーを利用した装置内のエアコンの停止、設備の間引きなどを進め、2023年は机上計算で、約28万kwhの削減を実施しました。また、廃棄物を削減するために設備で使用している機器をオーバーホールして使用し、1t以上の廃棄物を削減しています。</p> <p>設備保全以外の活動としては、AMAZON GIVES という活動を通して、地域に根差したFCを目指す取組を進めています。主な取組として、FC周辺の清掃活動や献血、近隣小学校からの職場見学などがあります。また、国際的な記念日には、その内容に沿ったイベントを企画するなど、FCの内外で広く活動をしています。</p>	          

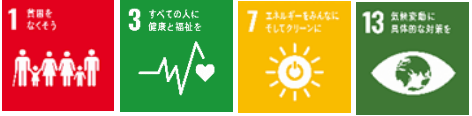

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

5	ウェルリンク株式会社	<p>・設立から約25年、メンタルヘルスの向上を目的に、ストレスチェック、健康経営、女性活躍、多様性への理解、ハラスメント対策、介護・育児・病気の両立、障がい者など、従業員とそこご家族が健康に幸福に働ける職場づくりを支援している企業です。ウェルリンク(Wellink)は、wellとlinkを結びつけた言葉。wellはwellnessのことで、世界保健機関(WHO)が提唱する「積極的な健康状態」を意味する言葉で、linkはそれを「結ぶ」の意味です。「働く人々の健康でよりよい暮らし」を実現するために、私たちの願いと共に名付けました。</p> <p>・喪失を経験した人々の立ち直りを支援する「グリーフケア」の重要性を説いたドキュメンタリー映画に協賛し、グリーフケアの認識向上に努めました。</p> <p>・東京都目黒区民向けに「落語会」を主催し、区長と九代目春風亭柳枝さんをお招きし、笑いを届けました。</p> <p>・高齢化が進む郊外ニュータウンで、高齢者への心理サポートをテレビ電話で行う実証実験に参加し、孤立防止と意識向上に寄与しました。</p> <p>・宮城県登米市で「東北風土マラソン2024」に参加し、地域活性化と住民交流を深めました。また、稲作農家の多い地区で無料健康セミナーを開催し、農業文化の保護に協力しました。</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に</p>
---	------------	---	--

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

6	株式会社 STF プロジェクト	<p>1. 中小企業の SDGs 取組推進</p> <p>中小企業や NPO 法人が取り組む SDGs 活動を、独自の手法によって見える化するサービス「SDGs Social-ACT」を提供しています。確かな情報発信により、中小企業の SDGs 取組に消費者や取引先などあらゆるステークホルダーが参画することで、さらに SDGs 取組に邁進できるようサポートします。</p> <p>https://www.sdgs-act.jp/social-act/</p> <p>2. 市民の SDGs 取組推進</p> <p>個人が暮らしの中で取り組んでいる SDGs の情報発信を行うサービス「SDGs My-ACT」を提供しています。現在はゴミ拾い、食品ロス、買い物の工夫、保護犬・保護猫運動などの個々の取組が発信されています。今後は、SDGs 資格認定機関とも連携し、SDGs の専門家を増やし、プロの眼から見た SDGs 取組の情報発信を進めていきます。</p> <p>https://www.sdgs-act.jp/my-act/</p> <p>3. 地方創生を目的とした SDGs 推進</p> <p>SDGs の目的のひとつに、多様な課題に囲まれた地域社会とその創生があります。神奈川県小田原市の地域版 SDGs-ACT を展開し、地域に即した課題解決のために、地域創生に寄り添えるサービスを提供します。</p> <p>https://odawara.sdgs-act.jp/</p> <p>4. DX 推進と徹底したペーパーレス</p> <p>オフィスに依存しない仕事環境をつくるため、デジタル環境を整備しました。社員間のコミュニケーションをはじめ、スケジュール管理、顧客担当者とのコミュニケーションにチャットツールやオンラインツールを推奨し、ペーパーのやり取りや FAX の非使用を通してペーパーレスを実施しています。</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
---	-----------------	--	---



令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

7	小田原液化ガス協同組合	<p>・自治会や地域の方と協力し、こども食堂等を立ち上げ、食事の提供のみならず、コミュニティの場を広めることによって、貧困問題への道しるべをつくり、かつ福祉の増進にもつなげていく活動を目指します。</p> <p>・災害時には、エネルギー供給の最後の砦と位置付けられ、さらには環境にやさしい「クリーンなエネルギー」LPガス”を、主に公共施設で利用してもらうことで、カーボンニュートラルなどの環境問題に貢献していきます。</p>	
8	合同会社小田原かなごてファーム	<p>耕作放棄地をおひるねしていた畑と捉え、その再生と保全活動に取り組んでいます。また、耕作放棄地を活用し、農業と自然エネルギーを組み合わせる展開する営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)を展開しています。現在7基目の発電所を建設中で、神奈川県では最大のソーラーシェアリング事業者となりました。神奈川県内唯一の米作りのそれ、FIT 制度に頼らずオフサイト PPA とされる手法を全国で初めて取り入れ、更に作った電気をオフサイト方式で自家消費するという、全国にもまだまだ少ない案件に積極的にチャレンジし、その成果は NHK クローズアップ現代、ガイアの夜明け、テレビ朝日系スーパーJ チャンネル、朝日新聞 SDGsACTION にも取材されている所です。地域自給圏(かなごて自給圏、食エネ自給)を掲げ、流域全体で食べ物やエネルギーを自給し、地域で経済を廻していく事の実践に、どこまでも泥臭く取り組んでいます。過去に「かながわ地球環境賞」も受賞しています。</p>	

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

9	一般社団法人小田原農人めだかの郷	<p>2012年発足、社員14名の当法人は、事業目的に、「桑原・鬼柳地区の貴重な生態系と美しい農業景観を守る」と謳う、少し変わった農業生産団体です。休耕田など担い手のいない田んぼを積極的に引き受け、その拡大を防ぐとともに、田んぼや水路の周囲にメダカなど絶滅危惧種の住みやすい環境を創出してきました。現在、管理面積は、全体で約3ha(うち水田は約2.7ha、畑は0.3ha)に及んでいます。その中に、小さいものも含め、当法人が独自に作ったビオトープが6か所、計画が2か所、企業・学校・市民団体の厚生活動、体験学習に使われる田んぼが0.23ha、新規就農者用の研修田が0.15haあり、休息と子どもの遊びの空間も0.05haほどあります。発足当時は、低農薬の慣行農業(畑は当初より完全有機の自然農法)主体でやっていたが、徐々に有機の割合を高めてきたため、ビオトープの創設と合わせ、看板の「生態系保全型農業」に近づきつつあります。世代交代も進めてきたため、市は集落営農組織に位置づけてきています。生産物の米は、面積当たり収量は多くないものの味が良いと評判で、以前は「なだ万」にも納めていました。酒米は井上酒造に渡し、「左岸」などのお酒になっています。</p>	 
10	一般社団法人桑原・鬼柳めだか米の会	<p>桑原・鬼柳地区にある、県内唯一の在来メダカの生息地では、植物も含め絶滅危惧種が10種ほど生存し、その全てが、豊かな湧水と土水路のある、昔ながらの水田環境に依存しています。しかし、長期にわたる米価の低落と少子高齢化で、稲作の維持は全国的に難しくなっており、生息地の場合は、周辺の田よりさら一段と条件が不利なため、放置すれば消滅は必定です。そこで、当会は、2001年の発足以来、生息地とその周辺で収穫されるお米を、次代の担い手が出るように、労働対価を受け取れる高い価格(農協の生産者価格の1.8倍)で生産者から買い取り、リーズナブルな価格で消費者に提供するため、地域・県域に独自の販路を築いてきました。現在、酒米も含めた取扱量は、16.5トン。生息地の稲作を支える大きな力になりつつあります。そして、(一社)おだわら農人めだかの郷、めだかサポーターの会など市民の手による、生態系と生物多様性を守る活動を下支えしてきました。当会の活動は、2010年名古屋の「生物多様性条約締結国会議」で、全世界に提起されたSATOYAMAイニシアチブに参考事例として取り上げられ、全世界に発信されました。</p>	 


令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

11	ケイミュー株式会社小田原工場	<p>ケイミュー株式会社は、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に向けて「ケイミュー地球環境憲章」と「ケイミュー環境方針」を掲げ、環境課題として重要な位置付けである「気候変動緩和」「循環型社会づくり」「環境保全活動」に重点的に取り組んでいます。さらに持続可能な社会の実現に向け、事業活動を通じてSDGsに貢献していきます。</p> <p>ケイミュー株式会社 小田原工場の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県事業活動温暖化対策計画書制度に参加し、工場・オフィスの省エネ活動の推進、脱炭素エネルギーの活用、工場の生産工程の脱炭素化、低炭素な原材料商品の開発、施工現場での端材発生や廃棄の削減、地産地消の物流網の構築等活動を進めていきます。 ・弊社事業場近隣の皆様に対しまして、安心・安全をご提供出来る様に、作業時に係る、騒音・振動・臭気等の測定を定期的を実施し、監視を継続し、住み良い街づくりに協力していきます。 	
12	株式会社小島商事	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原市駅伝大会では駐車場を中継所として開放するなど、市の活動やイベントに協力しています。 ・小田原市内に太陽光発電所を設置し、再生可能エネルギーの普及及びエネルギーの地産地消を推進しています。 ・エネルギー等、事業を超えた地域に必要とされる企業を目指しています。 ・地元自治会などの活動に積極的に参加し、地域とのふれあいを大切にし、個人団体にこだわることなく、広く社会福祉に貢献しています。 ・環境にやさしく、クリーンなエネルギー＝LPガスを広く利用してもらうことで、カーボンニュートラル問題に貢献しています。 	

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

13	株式会社柴橋商会	<p>医療・福祉施設へのリネンサプライや福祉用具のレンタル等、循環型のサービスを提供しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原工場は2024年1月に竣工しました。屋上に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを活用して、工場全体で必要な電力の約1割を発電します。また、高効率の排熱利用設備や乾燥設備を導入し、二酸化炭素の排出量を抑制します。 ・地域貢献活動として、小田原市と「災害時におけるリネンサプライ等に関する協定」及び「風水害に備えた一時避難場所としての使用に関する協定」を締結しました。これにより、小田原市内に地震、風水害その他の災害が発生、または発生する恐れがある場合に、被災者への生活物資を迅速に調達供給します。また、小田原市からの災害時の要請に応じて、寝具やリネン、福祉用具を供給運搬します。小田原工場があります堀之内自治会地域において、台風等の接近等により風水害が発生、または風水害の発生の恐れがある場合に、小田原工場を一時避難先として開放します。 	
14	書道指導者育成協会	<ul style="list-style-type: none"> ・書道文化を次世代に伝えることを目標に、小学生、中学生に向けた書道講座「小中学生のための書道教室」「小中学生のための書初め教室」を開催します。 ・硬筆による手書き文字文化が大切にされるように、「幼児のための親子でえんぴつ講座」を開催します。 ・デジタルの時代にあって、手書きすることによる書写の大切さを見直し、広く伝えていくために、書写研究の学識者を招き講演会を開催します。 ・漢字発祥地の中国安陽市と、同じ漢字文化圏に在るものとして、漢字を通じて文化交流、教育的交流を継続し、国際理解、平和友好交流を目指します。 	
15	合同会社 Zero to One	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店や店舗、企業等のデザイン制作、看板製作を通し、人々に楽しさ・嬉しさ・ワクワクを感じてもらい、この街に住み続けたいと思ってもらえるように努めております。 ・デザイン等を通し、人々に不快感を与えないように努めております。 	



令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

16	有限会社ちもと	<ul style="list-style-type: none"> ・国内生産原材料を優先して採用することにより、食料自給率の向上に貢献しています。 ・食品添加物の利用を最小限にすることにより、お菓子を通した体へのやさしさを提供しています。 ・学校等の課外授業を積極的に受け入れることにより、食育教育を提供しています。 ・2008年より新卒採用を継続し、職能発揮のみならず、人間形成に関わる研修を行っています。 ・女性従業員が占める比率 89.5%。女性従業員の活躍フィールドを提供しています。 ・幅広い世代の女性が働きやすい環境づくりを実現しています。 ・箱根湯本水道組合を通じ、主に須雲川の水源地の水質保全活動に貢献しています。 ・壁の断熱塗装を導入、社屋内照明のLED化をしています(50%達成)。 ・外国人材の採用、支援を実現しています。 ・行政、自治会、消防団、子供会などの地域コミュニティへの参画を通じた、地域連携活動をしています。 ・商品の製造過程における廃棄物削減、省力化に貢献しています。 ・食品廃棄ロスに取り組んでいます。 ・持続可能な観光業への参画を目指しています。 ・箱根町観光美化パトロール隊として、環境美化保全活動に参画しています。 ・行政、関係諸団体と連携し貢献します。 	
----	---------	--	---

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

<p>17</p> <p>株式会社ドリームプランニング</p>	<p>空き家買取再販事業、不動産メディア事業 (https://uruhome.net) に取り組んできました。また、不動産業者としての空き家を流通させる責任から、小田原市の他、日本全国の空き家をマッチング出来る「不動産 SNS ウチカツ(https://ucikatu.com)」の開発・運用をしており、今後も SDGs 活動に取り組んで参ります。</p> <p>○SDGs宣言書の当社の重点目標</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進－育児中の女性が働きやすい環境の構築に努めております <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB を利用した空き家問題解決－問題を抱えた地方の不動産の活用方法や処分方法などを、自社コラムサイトや youtube にて解説しています。 <p>11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家解消－小田原市の他、日本全国の空き家を買取り、再生、販売しています。 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家相談サイト－ウチカツにおいて、日本全国の不動産会社と協力して、空き家問題解決に尽力しております。 	
<p>18</p> <p>中北薬品株式会社小田原支店</p>	<p>病院やクリニック、薬局をはじめとする医療機関を中心に、医薬品をお届けしております。医薬品の卸の立場から、地域の方々がいままで健康で、安心して暮らせるまちづくりの実現に貢献していきます。</p> <p>「取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代に向けて、感染症予防のための手洗い勉強会を実施しています。 ・子育て世代の悩み解消のため、子育て支援センターにて離乳食や幼児食、食物アレルギーの講義を行っています。 <p>「目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の子供たちに向けて、「食育」をテーマに啓蒙活動を実施していきます。 ・行政とのパートナーシップ(包括協定)の推進を行います。 ・女性の健康をテーマに、乳がん啓発運動士によるリンパトーンマッサージを実施し、乳がんの早期発見に努めます。 	


令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

19	認知症をにんちしよう会	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人や家族、高齢者が安心して暮らせるまちづくりのためのイベントの開催。 ・「地域を医療、福祉、介護で支えます」をスローガンに、認知症に関する正しい情報の普及と専門職種の連携強化。 ・各種イベントへの参加や講師としての登壇。また、小学校に対する認知症普及啓発のための講演の実施。 	
20	一般社団法人 PFF JAPAN	<p>「全国の消防士を癌から守る」を目的に、小田原から神奈川、そして全国を視野に活動しています。消防士を20年間勤め、国内外の事を勉強していく中で、火災現場から帰ってきた消防士が、自分の手で防火服を洗浄していることに違和感を抱きました。防火服には発がん性物質が付着していて、皮膚や口から吸収してしまうからです。火災現場は当然危険ですが、現状、消防署も危険です。私はその危険から消防士を守るために、仕組みづくりとして、洗剤と洗濯機に着目し、『消防士を守る洗剤』を開発しました。この洗剤は、消防士を有害物質から守り、防火服の防火性能を維持すると同時に、油汚れを分解することにより市から排水される水が海を守ります。</p> <p>消防士の健康を守り、地域住民の安心安全を確保し、環境を守り、社会インフラをサポートすることで、住み続けたいまちづくりに貢献できると確信しています。そして、私達の財産である子供達の未来を守ることが市の繁栄に繋がると信じ、その未来をよくする事が、今の私達大人の使命であると考えます。</p>	


令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

21	<p>ピンクリボンふらす ODAWARA 女性のがんを 考える会</p>	<p>*乳がん啓発のピンクリボン運動を中心に、がん啓発活動を進めている任意団体として、女性特有のがんをはじめ、性別を問わずあらゆる人のがんに向き合い、がんについての正しい知識の啓発・普及を行い、がんの早期発見・早期治療につながる「がん検診」の受診率向上を目指します。</p> <p>*生涯2人に1人がなんらかのがんに罹患するといわれている現代、がんを正しく知ることは、がん検診の積極受診や、がん闘病者や家族のQOL(生活の質)を上げていくうえで不可欠です。そうした観点から、子供たちへの「がん教育」にも力を入れていきます。</p> <p>*がんを発症した人やその家族と医療福祉関係者をつなぎ、情報交換や発信、交流の場づくりを目指します。</p> <p>*主旨に賛同する個人や団体・企業に会員を募って連携し、定期的な勉強会やイベントの主催、他団体の企画したイベントへのブース出展などを行い、がんの啓発に取り組みます。</p> <p>*特に、毎年10月のピンクリボンデーやピンクリボン月間には、独自企画のイベント開催や、県や市との連携も積極的に行い、SNSなどで情報発信をしていきます。</p> <p>*がんになっても、誰もが等しく、安心して、より良い日常生活が送れるような社会を目指します。</p>	
22	<p>文化堂印刷株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい取組を社内のちいさいことから地球への負担を軽減するために、社内では紙ファイルの使用を義務化しています。 ・環境にやさしいエネルギーの使用 <p>環境を配慮し、社用車に電気自動車を導入しています。また、工場の屋上に約2,000枚の太陽光パネルを設置し、工場で使う電気の6~7%を発電しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の働きやすさの確保 <p>休日の増加、働きやすいシフトの作成等、残業の削減等、労働環境の整備に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FSC認証紙の使用 <p>管理された森林からの資材を積極的に利用することに努めています。</p>	

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

23	MilkyWay	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉等の資格を持つ、或いはケアラー支援を学ぶ会員が集まり、ヤングケアラーを含むあらゆるケアラーへの支援活動を行っています。 ・あらゆるケアする人をケアする場、本音と弱音が言える場として、「ケアラーズカフェLuana」を毎月1回以上、おだわら市民交流センターUMECO で開催し、ケアラー支援に尽力しています。 ・リーフレットやチラシ、会報を作成・配布し、UMECO だよりの掲載やホームページ、SNS の発信も充実させ、様々な層に声が届くように努めています。 ・日本ケアラー連盟や先駆的なケアラー支援を行う団体の講師による講演会を開催し、啓発活動に取り組みます。 ・賛同者の方々と勉強会を行い、会員の知識や経験を共有し、ケアラー支援に関する適切な対応を学んでいきます。 ・ケアラーの当事者等に、日本ケアラー連盟のケアラー手帳を配付します。 ・チャリティーバザーで応援者の方々とリサイクル活動と同時に、訪れた人達にケアラー支援について伝えています。 ・チャリティーコンサートで応援者の音楽家と共に、音楽とケアラー支援について届けています。 ・少子高齢化や核家族化により、今後さらに増えるケアラーを孤立させない活動により、支えあえる優しいまちづくりを目指します。 	 <p>SDG icons for goals 1 (貧困をなくそう), 3 (すべての人に健康と福祉を), 5 (ジェンダー平等を實現しよう), 10 (人や国の不平等をなくそう), and 11 (住み続けられるまちづくりを).</p>
----	----------	--	---

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

24	Yui International	<p>ヨーロッパ各国の持続可能な生産に取り組んでいる企業の情報やプロダクトを、日本市場に導入しています。</p> <p>① 実績として、オランダの廃棄物を原料にするサーキュラーエコミーな建築材を日本マーケットへ紹介し、建築業界の持続可能な取組を支援しています。</p> <p>② 飲食店の持続可能な経営を支援するコンサルティング NGO(日本サステイナブル・レストラン協会)のメンバーとして、飲食店のサステイナビリティ運営を実施しています。</p> <p>③ 2023年11月より、オランダの Heinde&Verre のチョコレートを日本市場へ輸入販売をする Chocolate Oranda の運営を開始しています。</p> <p>チョコレートについて:農作物エコシステムを重視するアグロフォレストリー農法で栽培される有機カカオを、生産者に正当な対価を支払い直接購入し、従業員の生活や環境向上に役立てています。工場は 100%天然エネルギーで稼働、チョコレートには添加物や香料は含まれず、アレルギーフリー(プラントベース)で全ての人に安全安心に召し上がって頂けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートを小田原はじめ、日本全国の菓子店・飲食店へ足を運び、カカオ生産と環境の関係、支払いと調達構造、原材料の選択、製造工程を含めて、ご理解頂くための説明を必ず実施しています。 ・地域のイベントに積極的に参加し、消費者の皆様にもチョコレート製造の全体を理解して頂く活動をしています。 	
----	-------------------	---	---

令和6年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

25	Lightning Fast 合同会社	<p>『あなたの「正しく」を「素早く!』という会社の理念のもと、IT 技術の正しい導入と活用の実現、およびそれを行う人材の教育をお手伝いしています。</p> <p>■IT 技術トレーニング</p> <p>IT 技術コンサルタントとして、お客様の正しいシステム導入をご支援するだけでなく、IT 技術者育成のための講師も行っております。近日、動画配信により、広くトレーニングを公開する予定でおります。</p> <p>■家庭菜園動画「小田原サンデーファーマー」の配信、子ども食堂への収穫野菜提供</p> <p>敷地内で菜園を作り、社員とその家族が食べる野菜を収穫しています。その作業を「小田原サンデーファーマー」というチャンネルで動画配信することで、市街地で働きながら週末に作業し、自ら育てた野菜で食卓を彩る楽しさを伝えています。品質と生産量が安定できれば、収穫野菜の一部を地域の子ども食堂に提供することも考えています。</p> <p>■リモートワーク前提の契約を優先</p> <p>お客様との契約では、リモートワーク前提という条件を付けることで単価を下げ、小田原から東京などへの出張を極力回避することで、移動に伴う排気ガス・電力消費の削減に貢献しています。</p>	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for goals 1 (red), 2 (yellow), 4 (red), and 8 (dark red). The bottom row contains icons for goals 9 (orange), 13 (green), and 15 (green).</p>
----	---------------------	--	---